

人を対象とする医学系研究に関する公開情報

研究機関名：筑波メディカルセンター病院

倫理審査承認日：2023年2月3日
研究課題名：乳がん検診における乳管内病変に関する研究 研究期間：2021年11月～2022年11月
研究対象：つくば健診センターで超音波検査による乳がん検診を受けた女性のうち、乳管内病変とされた症例を対象としました。
対象材料 <input type="checkbox"/> 病理材料（対象臓器名 ） <input type="checkbox"/> 生検材料（対象臓器名 ） <input type="checkbox"/> 血液材料 <input type="checkbox"/> 遊離細胞 <input checked="" type="checkbox"/> その他（超音波画像所見、診療録 ） 上記材料の対象期間 西暦 2018年4月～2020年3月
意義・目的： 乳房超音波診断ガイドラインの超音波検診における要精検基準では内部エコーを有する乳管拡張に関しては、流動性のあるものを除き基本的には要精検となります。しかし、実際に癌であることは稀である為、乳管内病変のうち乳癌と診断された症例の頻度、癌と診断された症例の画像的特徴を知り、超音波検診における要精検基準の一助とすることを目的としました。
方法：後ろ向き観察研究 期間：2021年11月～2022年11月 対象：2018年4月～2019年3月までの1年間につくば総合健診センターで超音波による乳がん検診を受けた女性のうち乳管内病変とされ2年間の経過が追えた受診者。 主要評価項目：超音波画像所見（形状、境界、血流、つくばElasticity Score）病理組織結果 副次評価項目：比較となる以前の超音波での病変の有無 解析方法：単変量解析（カイ二乗検定、t検定など） 本研究実施に際しては、対応表を用いて匿名化し個人情報の適切な保護を行います。 この研究に関する相談やお問い合わせ、またはご自身の診療情報につき開示または訂正のご希望がある場合は、下記連絡先までご連絡下さい。なおこの研究の対象になることを希望されない場合にはお申し出下さい。その場合でも診療上の不利益が生じることはありません。
問い合わせ等の連絡先 筑波メディカルセンター病院 臨床検査科 直井 玲子（代表番号 029-851-3511）